



第8回食育活動表彰
農林水産大臣賞

ボランティア部門【食育推進ボランティアの部】

農林水産大臣賞

キッズ☆サポーター

[福井県：活動期間20年]

幼児の料理教室「キッズ・キッチン」 および、小学生（高学年）の料理教室「ジュニア・キッチン」の企画・実践

「料理を学ぶのではなく、料理で学ぶ」

キッズ☆サポーターは、一般的な子ども料理教室とは異なるコンセプト「料理を学ぶのではなく、料理で学ぶ」を掲げ、食育活動を行っています。その達成を目指すため、長期にわたり独自の指導方法で実践している「キッズ・キッチン」および「ジュニア・キッチン」に取り組んでいます。料理の知識や技術のみならず、達成感、満足感、協調性、自立心等の獲得、さらに、魚の調理を通じた「命をいただくこと」の体得など、「心を育む教育手法」にも重点を置いて活動しています。



仲間と協力して料理に挑戦！



お魚さんの大切な命をいただきます

郷土の料理や歴史に触れ、郷土への誇りを獲得

ジュニア・キッチンには、小浜市内の全小学6年生が参加し、郷土料理の作り方や味を学んでいます。また、小浜が朝廷に若狭の海の幸や塩を献上する御食国（みけつくに）であったことや鯖街道などの歴史についても触れ、参加する児童たちが郷土に対する誇りを持つことを目指した食育活動を行っています。



野菜がたくさん



お豆腐上手に切れるかな…？

義務食育（「だれ一人取り残さない」） 体制で

年長児が参加するキッズ・キッチン及び市内全校の6年生が参加するジュニア・キッチンは、「すべての」園児や児童を対象にした「だれ一人取り残さない」という義務食育体制のもとで実践しており、地域全体へ食育の効果が浸透しています。特に、キッズ・キッチンにおいては、参加した幼児だけでなく「出来るだけ一緒に料理をしてみようと思った」等、そのご家族にも肯定的な変化が実証されており、広範囲への貢献が明確に表れています。



仲良く楽しく学びます♪



私は、16年前に、この活動を自分自身の子育てに活かしたいと思い、メンバーになりました。信頼できるメンバーと共に行う子ども料理教室の運営は、楽しく刺激的で、大きなやりがいを感じています。そして、長く続けてきたことで、普通の主婦だけでは経験できないことや、人との出会いがたくさんあり、自分自身の世界が広がったと嬉しく思っています。

キッズ☆サポーター
会長 宮脇 順子